


コロナの収束が見えない中で、またも緊急事態宣言が出されました。なかなか以前のような生活が戻らないこと、マスクしっぱなしの日々、仲間と集まらないこと…に疲れてきていませんか。私はやっぱり正直、疲れてきているんだなあ…とふと思ったりします。制約がありすぎる生活、皆で礼拝に集えないこと、大きな声で賛美ができないこと、一緒にごはんを食べながらワイワイできないこと…に相当さびしさ、ストレス感じています。医療従事者の方々は更にもっと大きなストレス、疲労を抱えているだろうな、と思います。それを思うと感染してはいけない、させてはいけない、と身を引き締めるのですが。辛さ、しんどさは比べるものではなくて、それぞれの環境でそれぞれに大変さがあります。どうか、皆ためこみすぎず辛い時は辛いと言えますように。神様がそれぞれの苦しみや痛みに触れて下さいますように。もし周りに感染された方がいたら速やかに癒されますように。

いつ終わるのか、というゴールが見えないものはなかなか大変なものです。それを思う時、イスラエルの人々はものすごいな!?!と改めて尊敬します。何百年にも及ぶ奴隷時代、何十年もの放浪時代、また数年に及ぶききん、など、ちょっと想像しがたい長さの苦しみを通ってきています。その間に亡くなっていた人も数知れず。そして、何百年もメシアを待ち望み…とてつもない忍耐の民族です。その間に何度も神様に背いたり怒らせたり、という罪も沢山犯していますが、神様を見上げることで希望を持ち続ける信仰者が必ずいたこと、決して神様は見捨てなかった、ということにやはり大きな励ましを受けます。私達も数年後には笑って集い合っていることを想像し、今のこの苦難を、貴重な体験をしている!と考えると、品生が練られていくことを期待しつつ、ただひたすら神様に望みを置き歩んでいきたいですね。 ロバ子 

まきばでひとやすみ

